

平成15年2月5日

各 位

井上春成賞委員会

委員長 沖 村 憲 樹

井上春成賞候補推薦のお願い

拝啓 余寒の候ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

「井上春成賞」は、科学技術振興事業団の前身の一つである新技術事業団の初代理事長であり、工業技術庁初代長官でもありました故井上春成氏が、わが国科学技術の発展に貢献された業績に鑑み、昭和51年に創設された賞であります。

本賞は、大学、研究機関等の独創的な研究成果をもとにして企業が開発し、企業化した優れた技術について研究者及び企業を表彰することを目的としており、皆様のご協力により創設以来すでに56件の顕彰を行っております。

今般、井上春成賞委員会は、第28回（平成15年度）井上春成賞表彰のため候補技術を下記により募集することといたしました。つきましては、表彰候補として適当と思われるものをご推薦いただくとともに、あわせてご関係方面に広くお知らせくださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 募 集 期 間 平成15年2月5日（水）から平成15年3月31日（月）まで
なお、郵送の場合には当日の消印有効
2. 表 彰 件 数 原則として2件
3. 受 賞 者 表彰対象技術ごとに研究者代表1名および企業代表者1名
4. 表 彰 式 平成15年7月11日（金）
5. 賞 の 内 容 表彰状およびゴールドメダル（純金製）

後 援 機 関 日本経済新聞社

添付書類

- (1) 井上春成賞候補の募集要領
- (2) 井上春成賞候補推薦書様式
- (3) 井上春成賞表彰技術ならびに受賞者一覧

[参 考]

井上春成賞委員会の構成

委員長	沖村 憲樹	科学技術振興事業団理事長
委員	赤羽 信久	(財)全日本地域研究交流協会理事長
〃	新井 明	日本経済新聞社相談役
〃	石川 敏功	日本カーボン(株)相談役名誉会長
〃	石坂 誠一	富山国際大学学長
〃	大澤 弘之	(財)リモート・センシング技術センター理事長
〃	岡 久雄	三菱電機(株)顧問
〃	川崎 雅弘	文部科学省宇宙開発委員会委員
〃	川田 裕郎	(社)日本計量振興協会会長
〃	末松 安晴	国立情報学研究所所長
〃	杉村 隆	国立がんセンター名誉総長
〃	中村 守孝	(財)原子力安全技術センター会長
〃	田中 郁三	(学)根津育英会理事長・武蔵学園長
〃	西澤 潤一	岩手県立大学学長
〃	林 主税	(株)アルバック
〃	松平 寛通	(財)放射線影響協会理事長
監事	小野 輝道	元新技術審議会委員
〃	千葉 玄彌	元新技術事業団理事

井上春成賞候補の募集要領

1. 対象技術

- (1) 大学、研究機関等の独創的な研究結果であること
- (2) 前項の研究成果を受けて企業が開発し、企業化した技術（販売実績があるもの）であること
(研究段階から開発、企業化まで自社のみで行ったもの並びに研究者及び企業等の両者が外国籍の場合は対象となりません。)
- (3) 科学技術の進展に寄与し、経済の発展、福祉の向上に貢献した技術であること
(中堅・中小企業技術の場合、技術上の特徴、市場特性についても別途考慮します。)
- (4) 原則として企業化されてから5年以内であること
- (5) 大河内記念賞、日本産業技術大賞、市村賞本賞、恩賜発明賞等顕著な賞を受賞した技術でないこと

2. 選考方法

学識経験者で構成される井上春成賞選考委員会（委員長 田中郁三（学根津育英会理事長・武蔵学園長））において選考し、この結果に基づき井上春成賞委員会で決定、表彰します。

3. 申込手続

井上春成賞候補推薦書：2部

添付書類：会社概要、技術の詳細な内容、研究論文、特許公報、函面、写真、文献、新聞、雑誌切抜、カタログ、サンプル等審査の参考になるものを2部ずつ提出してください。

※提出書類は一切返却いたしません。

〔提出先〕

〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8（川口センタービル）

科学技術振興事業団内

井上春成賞委員会

〔お問合せ先〕

科学技術振興事業団 総務部 小守

電話 048-226-5601

FAX 048-226-5651

受付番号	
受付日	年 月 日

井上春成賞候補推薦書

平成 年 月 日

井上春成賞委員会 御中

推薦者

所属

役職・氏名

⑩

下記のとおり井上春成賞の候補技術を推薦します。

記

技術の名称			
研究者または 研究グループの代表者	(ふりがな) 氏名		
	勤務先・役職		
	所在地・電話	〒	電話 FAX
企業化開発を実施した 企業及び代表者	企業名		
	(ふりがな) 代表者名		
	所在地・電話	〒	電話 FAX

推薦理由			
------	--	--	--

連絡先	(ふりがな) 氏名		
	勤務先・役職		
	所在地・電話	〒	電話 FAX

※この様式にそって必要事項をご記入下さい。

技術の概要

研究、開発、 企業化の時期	研 究 自 年 月 至 年 月	開 発 自 年 月 至 年 月	企業化 年 月
------------------	-----------------------	-----------------------	---------

研究、開発の経緯

企業化状況

工業所有権

他 件

学術論文等

学術論文 編、 その他報告 編、 学術講演 件

過去における受賞

技術の独創性

科学技術の進展への寄与

経済の発展、福祉の向上等への貢献

推薦書記入要項

1. 技術の名称

技術内容が端的にわかるように、簡潔な名称をつけてください。商品名はご遠慮ください。(過去の表彰技術の名称を参考にしてください。)

2. 研究者または研究グループの代表者

研究成果を生み出した人を記入してください。グループ研究の場合は、中心的役割を果たした人となります。(代表とならなかった人の同意書を後日提出していただくこともありますので、ご承知おきください。)

3. 企業化開発を実施した企業及び代表者

複数企業による共同開発の場合には、代表企業を選定していただき記入してください。この場合、代表とならなかった企業の同意書を添付してください。また各社の役割分担表も併せ添付してください。

代表者は、原則として社長とします。

4. 推薦理由

本技術開発のもつ意義等を勘案して記載してください。

5. 連絡先

本件の内容をよく知っていて、常時連絡できる責任者を記入してください。

6. 技術の概要

目的、原理・構造、機能・特徴等の要点を記載してください。

7. 研究、開発、企業化の時期及び経緯

研究、開発、企業化の時期について括弧内に西暦を併記して記載してください。技術移転・協力関係(研究者と企業の役割分担)を明らかにしてください。

8. 企業化状況

企業化以降の販売実績(数量、金額)、市場占有率を年度別に記入してください。なお、市場占有率を明確に算出出来ない場合は、本技術の適用が期待される市場に対する本技術の普及率等、企業化の状況を適切に表せるよう記載してください。また、近い将来の見通しについても記載してください。

なお、本技術に係わる製品を装置等に組込んで販売した場合は、当該製品についてのみ記載してください。

9. 工業所有権

推薦書には、本技術に関する基本的な特許1件について、番号、名称、発明者、出願人を記入してください。

また、関係する工業所有権について上記要領で一覧表を作成し、添付してください。

10. 学術論文等

研究者の本技術に関する代表的論文1件の論文タイトル、学会名、時期を記入してください。

また、関係する論文リストを添付してください。

11. 過去における受賞

本技術に関して過去の受賞を記入してください。

12. 技術の独創性

「6.」で記載の技術の概要のうち、本技術が独創的である点、卓越した点について記述してください。

例えば、新物質の創製、新原理・新現象の発見等に属するものであるか、あるいは既知の事象であっても新しい着想に基づく応用展開に属するものであるか等、内外の同種技術（機能または応用目的が類似するもの）と対比しつつ、わかりやすく記載してください。

13. 科学技術の進展への寄与

本技術の属する分野の科学の発展や技術水準の向上への効果（新分野の開拓、新機能の創出、性能向上等）、さらに他の分野への波及効果について記載してください。

14. 経済の発展、福祉の向上等への貢献

社会・経済の発展、環境保全、生活の質・福祉・安全・衛生の向上、健康の維持・増進等いずれかへの特筆すべき貢献について記載してください（2項目以上に該当する場合は重要なものから順に記載してください）。また、技術輸出等の実績があれば付記してください。

（注）なるべくワープロで記載してください。